

上野桜まつりの民間実施に関するサウンディング型市場調査 実施結果

ヒアリング内容	備考
イベントをしていることが国道から見て公園内は分かりにくいため、イベントは1日集中型でしっかり広報して、集客を狙う方が良い。	
イベント運営にかかる費用と収入をどう収益に結びつけていくか、イベント運営業者の予算と集客力を高める戦略が求められる。	
イベントの出店者に対して出店料やイベント協賛を通じた広告料、第三者によるクラウドファンディング、イベント時だけベストライン上野パークの駐車料金などの設定をしたい。	
イベント準備等の人件費等もかかることから、雨天時だった場合の準備費用等の補償は考えてほしい。	
市が負担する部分（広報、警備、保険）は明確にし、民間に委託できる部分はしっかりと分担してほしい。	
イベント全体にかかる必要経費（人件費や備品等）は市が一旦負担し、イベント運営主体の収益がでればイベント運営側から市に還元するやり方が望ましい。	
さくら開花期間全体での実施は難しいため、期間中の1日だけのイベント実施であれば可能。	
ネーミングライツのような目的で、市がイベント主体者を募集して委託する。	
イベントの1日開催を軸に、ライトアップを含む演出、キッチンカー・フリマ等の開催は可能。その際、ターゲットを家族連れとし、子ども向けのダンス等の演出をすることで、イベント参加者数を増やす可能性あり。	
人的課題として照明のON/OFF、発電機運用、電気配線などが挙げられ、照明のON/OFFはタイマースイッチを導入すれば負担軽減できる可能性がある。	
1日イベントを軸に、キッチンカーなどの出店料を得て、演出費用を考慮しながら、ライトアップと家族向け演出を強化することが妥当。	
イベントスタッフの確保が難しい。	
専門の方にイベントノウハウを提供してもらいながら、警備、安全面でどれだけの協力を市にもとめるかを進める方がスムーズ。	
他のイベントのように市が関わった実行委員会を立ち上げてできないか。	
平日はライトアップのみにした方がよい。	
若い方から年配の方まで記憶、思い出にのこるもの、なにかしらで五條市が盛り上がり上がればいいと思っている。	